

心理学科科目表

必修・選択の区別		必修										選択											
科目の種類	学部共通科目	卒業論文	総合演習	精神環境科目										歴史・文化環境科目	自然・社会環境科目	学部共通科目	学年ごとの人材育成目標						
				心理学基礎科目		基礎心理学関連		発達・教育心理学関連		心理学発展科目		臨床心理学関連						隣接関連		実習・演習科目			
				心理学概論	心理学研究法	基礎心理学	発達心理学	社会・産業心理学	臨床心理学	隣接科目	隣接科目												
1年次	前期	人間環境学 基礎ゼミナールⅠ 情報実習Ⅰ キャリアデザイン 英語Ⅰ	2 2 1 2 2		心理学概論 心理学研究法	2 2		教育心理学※1 学校・教育心理学Ⅰ※2	2 2							日本美術文化論Ⅰ 日本の言語芸術と文化Ⅰ 中国の歴史と文化Ⅰ	2 2 2	共同フィールドワーク 地域連携ワーク 企業会計Ⅰ 環境リスク概論 生態系の機能と社会 現代社会と経済 環境問題と基本的人権	1 1 2 2 2 2	海外大学単位互換科目Ⅰ 英会話Ⅰ ドイツ語Ⅰ 中国語Ⅰ	2 2 2 2	心理学の全体像を把握するとともに、現代社会が抱えている心理的問題に対する問題意識を高め、必要とされる人材像を各自が持つ。	
	後期	基礎ゼミナールⅡ 情報実習Ⅱ 英語Ⅱ	2 1 2		心理統計法	2	発達心理学	2		臨床心理学概論	2				言語表現論 日本美術文化論Ⅱ 日本の言語芸術と文化Ⅱ 中国の歴史と文化Ⅱ	2 2 2 2	環境と生物の進化 地球環境の化学像 企業会計Ⅱ 経済学概論 経営学概論	2 2 2 2	英会話Ⅱ ドイツ語Ⅱ 中国語Ⅱ スポーツ実習	2 2 2 1			
2年次	前期				心理学基礎実験実習Ⅰ 心理検査実習Ⅰ	1 1	学習・言語心理学	2	社会・集団・家族心理学 関係行政論	2 2	感情・人格心理学Ⅱ	2	公認心理師の職業 心理学文献講読 心理学データ解析 心理調査法（心理学研究Ⅰ）	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	2 1	専門的な講義による高度な知識と、実践的研究手法を身につけ、実際の問題解決をはかることができる人材となることを目指す。		
	後期				心理学基礎実験実習Ⅱ 心理検査実習Ⅱ	1 1	知覚・認知心理学	2	生涯発達心理学 障害者・障害児心理学	2 2	対人関係論	2	発達臨床心理学	2	医学概論	2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	4 2 2 4	2		
3年次	前期			総合演習Ⅰ	2	心理演習Ⅰ	1	感情・人格心理学Ⅰ 神経・生理心理学 比較心理学	2 2 2	青年心理学	2	マスメディア心理学 産業・組織心理学Ⅰ	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2	2	2	専門的な講義と、演習形式による授業での討論を通して、学生自身の研究テーマを明確にしていく。研究を進めていく中で、これまでに得た知識や技能を総合して、現代社会の問題解決に寄与する思考力と実践力を持った人材を目指す。そのためにはキャリア形成演習などの活用も不可欠である。また、一部の学生は、臨床心理士、公認心理師として社会に貢献する人材を目指す。
	後期			総合演習Ⅱ	2	心理演習Ⅱ	1		教育・学校心理学Ⅱ	2	産業・組織心理学Ⅱ	2	2 2 2	2 2 2								1	
	通年																						
4年次	前期			総合演習Ⅲ	2																		卒業論文をまとめることと、人間環境学と心理学を基盤とした4年間の総合的な学びの総括により、単に専門的知識を有する人材ではなく、現代社会の問題への対応力を有した人材となることを目指す。
	後期			総合演習Ⅳ	2																		
4年次	通年			卒業論文	6																		
	身につく知識・能力	大学で学ぶ専門的な分野の諸課題を総合的にとらえるための学問的基礎を身につける。また、国際化・情報化が進化する社会で活躍するための基礎力を修得する。	現代社会における心の問題や、さまざまな現象について探求し、深く考察する力を修得する。	事象を分析し統合していく思考力、他者との相互の考え方を理解し問題を探究していく力、および他者へ働き掛けていく表現力を身につける。	心理学を深く学ぶ上での土台となる。心理学の幅広い領域における基礎知識、各領域における多様な研究方法、研究に必要な心理統計の基礎知識を身につける。	心理学の基礎的実験や心理検査を実施したり、収集したデータを分析した結果を適切な形式の報告書にまとめる力を修得する。	知覚、認知、思考、感情など、心の働きをさまざまな側面について、その性質や背景にあるメカニズムを学び、心を科学的に研究するための視点を養う。	人の生涯にわたる発達段階の心理学的特徴と課題について理解を深め、洞察力を養う。さらに、学校現場や子どもを取り巻く諸問題について、その背景要因を分析する力や、援助のあり方を探求し応用する力を身につける。	対人関係や集団・職場における人の意識および行動についての心の過程や、家族・集団・文化が個人に及ぼす影響について説明する力、職場における問題に対して必要な心に関する支援とその方法を説明する力を身につける。	人のこころが失調をきたす機序を理解し、失調をきたしたこころへの援助方法についてこれまで臨床心理学分野で積み上げられてきた知識を身につける。さらに、こころの病だけではなく、健康なこころについても理解を深める。	心理学の近接領域である医療や福祉についての知識を学ぶ。人間の心身の発達や、疾患の特徴・病態生理・診断・治療、福祉現場において生じる問題とその背景・心理社会的課題と必必要な支援に関する知識を身につける。	心理学の専門的研究をおこなうために必要な実験・検査・観察・面接などの実施方法や多様な方法論に関する知識を、体系的な学習や専門的な文献の購読を通して身につける。	人間が生活する歴史・文化的な側面での人間環境についての基礎知識を修得する。	人間が所属している社会的・経済的枠組みや、人間をとりまく自然環境についての基礎知識を修得する。	グローバルな視野を持ち、国際社会に貢献するための基礎的知識を完成する。また、企業・地域社会などに寄与する活動能力の基礎を完成する。								